

License.dll が削除され DESIGNER が起動できない

2023年10月23日より、DESIGNER が起動できないお問い合わせをいただいております。
弊社へのお問い合わせでは ESET での検疫または削除されている事を確認しています。セキュリティソフトの誤検出により、License.dll が削除または検疫されファイルがなくなっているようです。

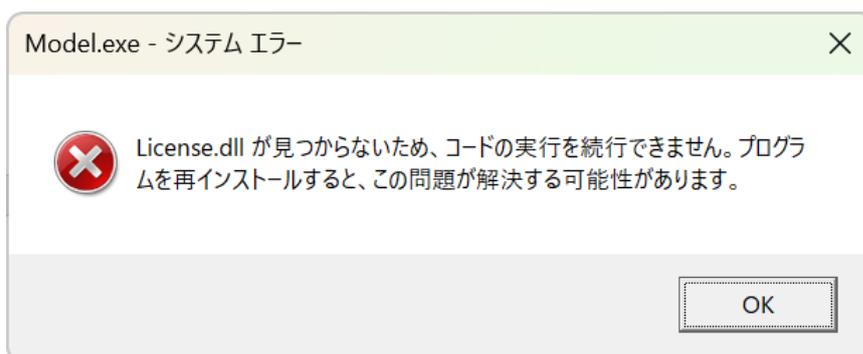
2023/10/23 に現象を回避したファイルを含む SP1.13 を再アップロードしました。
SP1.13(2023/10/23 版)以降を適用していただくことで、現象を回避できます。

現象

DESIGNER を起動すると、スプラッシュが表示されたまま DESIGNER が起動しない。
(ESC キーで終了できます)



Kuraki¥Designer190¥model.exe を直接起動した場合、システムエラーが表示される。



確認方法

セキュリティソフトの警告または検疫リストに、ハッシュ値が表示されている場合は、以下のアルゴリズム毎のハッシュ値と比較して差異がなければ、出荷後の改ざんは無いと判断できるため誤検出と考えられます。

K-Ver19.0 DVD～SP1.04 License.dll

アルゴリズム	ハッシュ値
SHA25	DEDF873918B06ECF78D2C60F6C884C66899617BE25259180BD6BFE48F464ECEF
SHA-1	B2C8A3BCE64A20826401BBC9D4B8DE6C285CE690
MD5	9E3A4141E9880F1FB2226BB7B3DA59DC

K-Ver19.0 SP1.05、SP1.06 License.dll

アルゴリズム	ハッシュ値
SHA25	2CAB6A3953499CF5BF7888508EBEFEB46214EC2B599894C64AF19BC7A65BF2DF
SHA-1	2946776D7D3D5318BBC29976564214CE8CDB98D1
MD5	F3ECF5E3363C89E2BADA6A1CA33C15F2

K-Ver19.0 SP1.07 ～ SP1.08 License.dll

アルゴリズム	ハッシュ値
SHA25	182761FCACD9CDFB1E74BFFACE8B609F1B24083C1A740E7DBAE5031504E28358
SHA-1	78FF226FF05F4D550BC458A0A9D1693633D1C2A2
MD5	2433C506ABE6031DE4E78D5D4CE9B208

K-Ver19.0 SP1.09～SP1.13 License.dll

アルゴリズム	ハッシュ値
SHA25	C063D57A8151982F9DC4D513B37CDEC382F1899C8E7152523A7B3B39BAF2DCC9
SHA-1	3681E0ADB261B3EEE7EBB3590ACFB1F9582F8FE5
MD5	02A926141808D827B7FEF3C2B1B953E5

K-Ver19.0 SP1.13 (2023/10/23 再アップロード版) License.dll

アルゴリズム	ハッシュ値
SHA25	9836BC8A562B767F83E40D1916A3EF28327BC8789132F103C01AE26970758A69
SHA-1	89BD9D7C5B4E6E36F362E5DB17DD798B1A301A20
MD5	FOF1DCF306229EDFE53C0EE5BC5BDF86

表示例： HP Wolf Security (このソフトは SHA256 のハッシュ値が表示されます)

The screenshot shows the HP Wolf Security interface. At the top, there is a 'セキュリティ警告' (Security Warning) window with a notification icon and the text 'アラート' (Alert). Below this is a table of security events. The table has four columns: '時間' (Time), 'ソース' (Source), '種類' (Type), and '詳細' (Details). The first row is selected, showing a warning for 'License64.dll' on 2023/09/28 at 9:53:09, categorized as 'マルウェアからの保護' (Protection from malware). To the right of the table is a detailed view for the selected event, showing the file path 'C:\KURAKI\Designer200\sp_temp_x64\7z_temp\model_x64\model_x64\License64.dll' and its SHA256 hash value: 873662B82B26758551B248F67D5148391E4280F31A6F68624E840B2D2AA1B04D. Below the hash are buttons for 'ファイルの削除' (Delete file), 'ファイルの復元' (Restore file), and '閉じる' (Close).

時間	ソース	種類	詳細
2023/09/28 9:53:09	License64.dll	マルウェアからの保護	>
2023/09/28 8:05:35	License64.dll	マルウェアからの保護	>
2021/03/09 7:56:20	msedgewebview2.exe	マルウェアからの保護	>
2021/03/09 7:56:18	msedge.exe	マルウェアからの保護	>
2021/03/08 19:01:37	msedgewebview2.exe	マルウェアからの保護	>
2021/03/08 19:01:35	msedge.exe	マルウェアからの保護	>
2021/03/08 8:22:57	msedgewebview2.exe	マルウェアからの保護	>
2021/03/08 8:22:55	msedge.exe	マルウェアからの保護	>

License64.dll
2023/09/28 9:53:09

ファイル: C:\KURAKI\Designer200
\sp_temp_x64\7z_temp
\model_x64\model_x64
\License64.dll

ハッシュ: 873662B82B26758551B248F67
D5148391E4280F31A6F68624E
840B2D2AA1B04D

ファイルの削除
ファイルの復元
閉じる

回避方法（SP1.13 対策版以降をあてない場合）

1. セキュリティソフトの警告または検疫リストに、License64.dll が無いかを確認する

1) リストに存在する場合

誤検出の可能性があります。

前途のハッシュ値と比較し、一致する事を確認してください。

2) リストにない場合

セキュリティソフトによるファイル削除でない可能性が高いです。

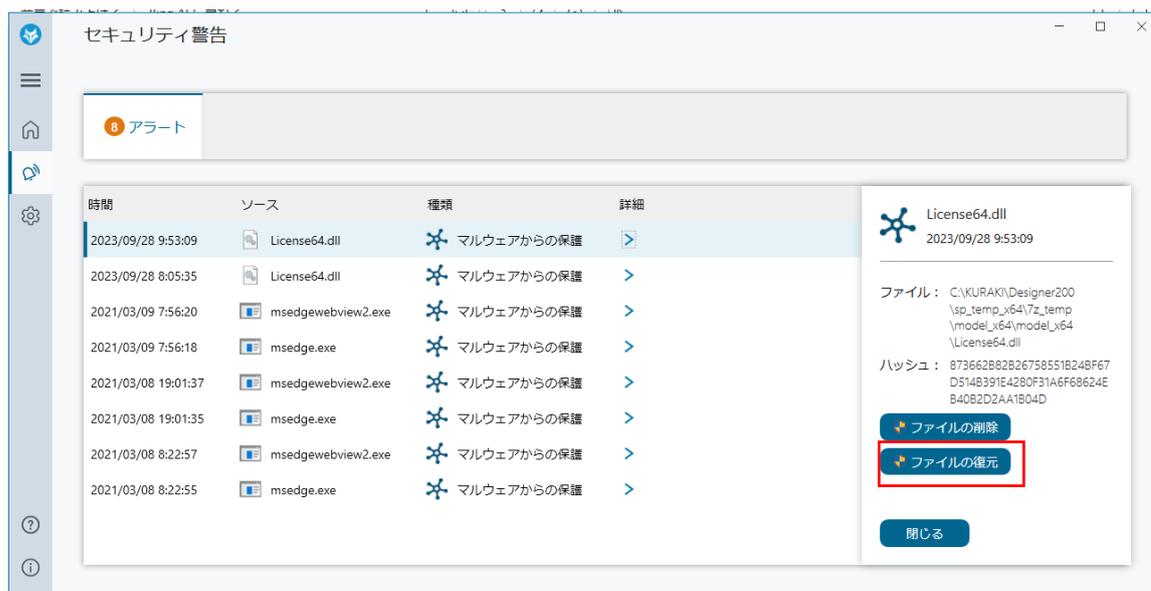
「4. サービスパックを適用しなおす」で復帰できる可能性があります。

2. ファイルの復元が可能かを確認する

セキュリティソフトの警告または検疫リストには、ファイルの「削除」「復元」の選択ができるものがあります。

「復元」が可能な場合は、ファイルの復元を試みてください。

例：HP Wolf Security



1) 復元できた場合

対応終了です。DESIGNER が起動できるか確認してください。

※セキュリティソフトにより、ファイル名に対して例外設定するものと、同一のハッシュ値のものを例外設定に追加するものがあるようです。継続してファイルが削除されてしまう場合は、後述の例外設定をご検討ください。

2) 復元が選択できない、または復元に失敗する場合

後述の「3. 例外設定」をご検討いただき、その後「4. サービスパックを適用しなおす」を行ってください。

3. 例外設定を追加する

セキュリティソフトの例外設定に **DESIGNER** フォルダーを追加する事により、誤検出を回避する方法です。

セキュリティソフトの設定変更については、自己責任においてご対処いただきますようお願いいたします。何等かの不具合が発生しても弊社では責任を負いかねますのでご理解の上での対処をお願いいたします。

手順を確認しているセキュリティソフトは以下の2つです。

[例外設定\(HP Wolf Security\)](#)

[例外設定\(ESET\)](#)

また、**ESET** で動作検証をしたものについては、次をご参照ください。

[動作検証\(ESET\)](#)

4. サービスパックを適用しなおす

今回の事例の場合、サービスパックを適用しなおす事により、ファイルが再度適用されますが、セキュリティソフトにより削除される場合があります。

前途の例外設定を行ってから、サービスパックの適用をお試しく下さい。

以上

例外設定(HP Wolf Security)

1. 通知領域からダッシュボードを開く



2. 設定/マルウェアからの保護を開く



3. フォルダーをスキャン対象から除外 に DESGINER フォルダーを追加する
赤矢印より、フォルダーを追加します。

※ C:¥KURAKI¥Designer190 を指定してください。

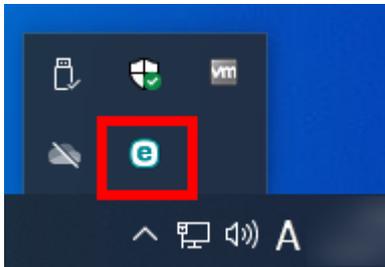


設定後は、Windows を再起動してください。

例外設定(ESET)

この手順は https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/168?site_domain=private の「パスを入力して特定のファイル / フォルダの除外設定をしたい場合」を参考に作成しています。

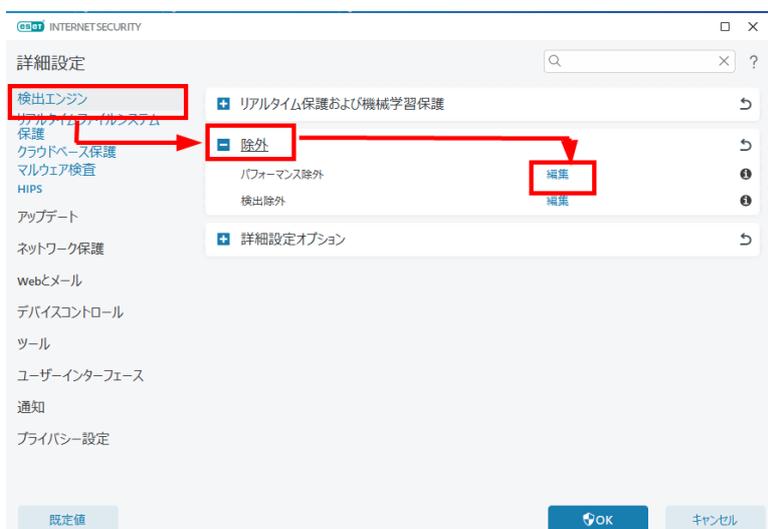
1. 通知領域から ESET 製品のアイコンをクリックする



2. 設定/詳細設定 をクリックし、設定ウィンドウを開く



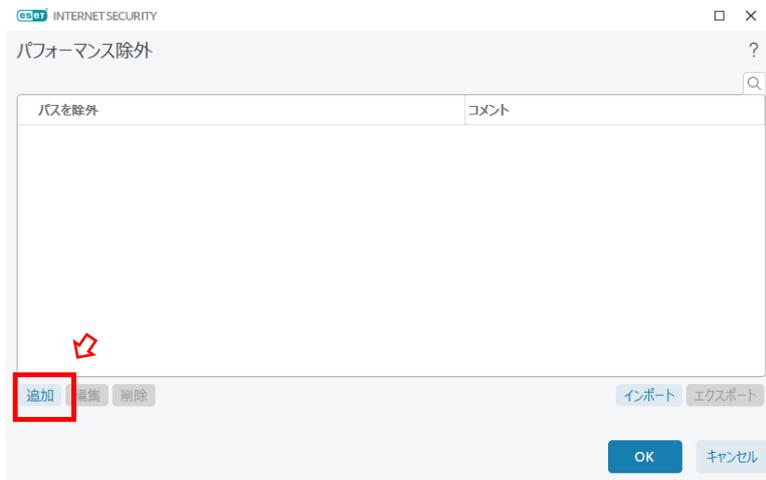
3. 検出エンジン/除外 を展開指定、パフォーマンス除外/編集をクリック



4. パフォーマンス除外画面でフォルダーを追加

赤矢印より、フォルダーを追加します。

※ C:¥KURAKI¥Designer190 を指定してください。



フォルダー追加後 OK ボタンをクリックし、パフォーマンス除外を閉じます。

設定後は、Windows を再起動してください。

動作検証(ESET)

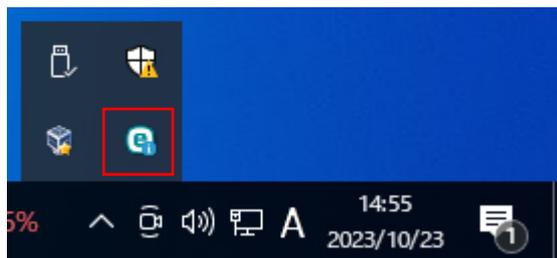
SP1.13 対策版を適用しない場合の回避方法として、2023/10/23 に ESET の体験版をインストールし、動作検証をしたものです。アップデートにより動作が変わっている可能性があります。

1. DESIGNER 起動時に脅威が削除されました と表示され、DESIGNER が起動できない状態
※体験版で作成



2. ESET のログを確認

通知欄から ESET を開く



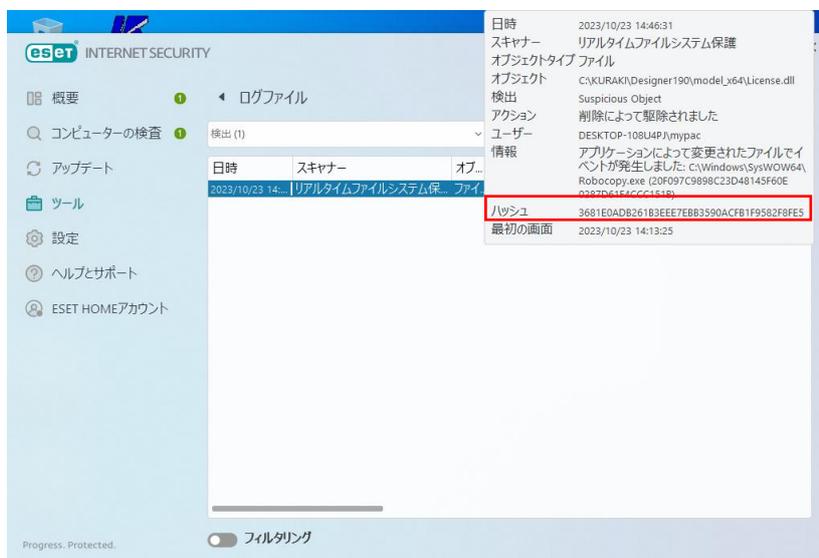
ツール／ログファイル を開く



ツール／ログファイル でハッシュ値を確認する

※Eset では SHA-1 が表示されています。

表示される「ハッシュ」と、前途のハッシュ値(SHA-1)を比較し、同じであれば誤検出であると推測できます。



3. 例外設定

例外設定(ESET) を参考に、DESGINER190 フォルダを追加します。

記載の設定で、検出されなくなることを確認しました。

※例外設定を追加・削除した場合は、Windows を再起動してください。

4. ファイルの復元

ファイルの復元を行います。

※例外設定を行わないと再度削除されるため、例外設定後に行ってください。

ツール／ログファイル を開く

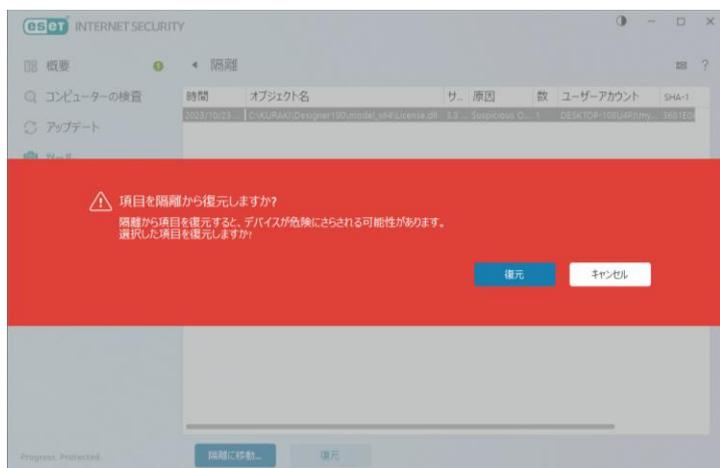


隔離されているファイルの一覧が表示される

License.dll が表示されている項目をクリックし、「復元」をクリックします。



復元の確認が入ります。「復元」ボタンをクリックします。



復元に成功するとリストから削除される



5. DESGINER が起動できるか確認

以上